

ピリブチカルブ・プレチラクロール乳剤 シング乳剤	取扱メーカー： 三井アグロ、ホクサン、一農 原体メーカー： 日本曹達、シンジェンタ
成分： ピリブチカルブ〔カーバメート系 PRTR・1種〕…12.0% プレチラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕…8.0% その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル〔PRTR・1種〕…11.7% 1,3,5-トリメチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………13.0% 1,2,4-トリメチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………26.0%	性状： 黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- 移植前後に使用する水田用初期除草剤で、水田の代かき作業時等に容器のまま原液で散布できる省力性の高い除草剤である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5、水稻除草剤散布 使用上のポイント参照。
- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに、時期を失ないように散布する。
- 必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。低温で長期にわたり雑草が発生する場合や、代かきから移植までの期間が長い場合は特に注意する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ	発生始期まで

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5、水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保つ。
- 機械散布（乳剤専用散布機など）には使用しない。
- 10 a 当り300 mlの湛水散布（少量散布）は、低温で長期に渡り雑草が発生する地域、代かきから移植までの期間が長い場合において、移植後に使用する除草剤と体系で使用する。

- 移植後に散布する場合は、水稻になるべくかからないようにする。
- 徒長軟弱苗の場合や極端な漏水田（減水深2 cm／日以上）及び著しいガス発生田では使用をさける。
- 適用作物（水稻）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 自動車の塗装面等にかかるとう変色するおそれがあるので散布液がかからないように注意する。トラクターの塗装面にかかるとう変色するおそれがあるので乳剤専用散布機には使用しない。
- 魚類、藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 蚕に影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。



【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	植代後～移植7日前まで	500 ml	原液湛水散布	1 回 ※
		植代時 (移植7日前まで)		植代時に原液 のまま散布し 混和する。	
	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	植代後～移植7日前まで	300 ml (少量散布)	原液湛水散布	
		移植直後～ノビエ1 葉期 但し、移植後30日まで			

※ピリブチカルブを含む農薬の総使用回数：2 回以内

※プレチラクロールを含む農薬の総使用回数：2 回以内